

教科	総合的な探究の時間	科目	知の理論	単位	2	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材	なし 必要に応じて図書館の書籍等を活用します。						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

TOKでは以下の2点を教師は生徒に問いかけることにより、思い込みや偏見を認識し、物事を判断するときに分析的なアプローチができるようにすることが目的です。

- ①私(たち)が知っているということは何を意味しているのか? =What we knowについて
- ②どのようにして私(たち)は知るのか? =How we knowについて

2. 学習の到達目標

IBのCurriculumの中で定義されている、思考スキル、コミュニケーションスキル、社会性スキル、リサーチスキル、自己管理スキルの5つのスキルを活用し伸ばしていくこと。また、この教科を通して表出が期待できることは、物事をできるだけ正確にとらえ、批判的思考をもとに様々な角度から検証し、そこから得られた説について、根拠を持って論理的に説明することができるようになること。  
設定される最終課題の要件を満たし、十分な論理性を持つこと。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	b: 思考・判断・表現			
観 点 の 主 旨	特定された実社会の状況を明確に関連させ、入念に形成された「知識に関する問い」を終始取り上げている。説得力のある議論を構築し、その問を実社会の状況に照らして効果的に探究し、様々なものの見方を吟味している。分析した結果が、選択した実社会の状況や他の状況において重要性があることを示している。			
評 価 方 法	国際バカロレア・ディプロマ・プログラム『知の理論』のエキシビジョンのマークバンドによって一人あたり10分のプレゼンテーションでのみ評価を行います。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、文章にて評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
4		知の理論概論							
5		スキルの確認		○					
6		知識の領域①芸術		○					
7		エッセイの練習		○					
8		知識の領域②自然科学		○					
9		知識の領域②自然科学		○					
10		知識の領域③数学		○					
11		知識の領域③数学/ 知識の領域④歴史		○					
12		知識の領域④歴史		○					
1		TOK展示準備		○					
2		TOK展示/ TOKエッセイ準備		○			IB TOK展示の規準		
3		TOKエッセイ対策		○					

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 小単元 の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。